

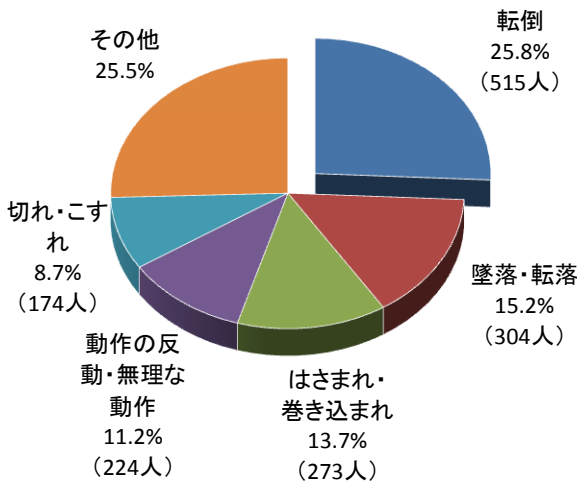
なくそう職場の転倒災害



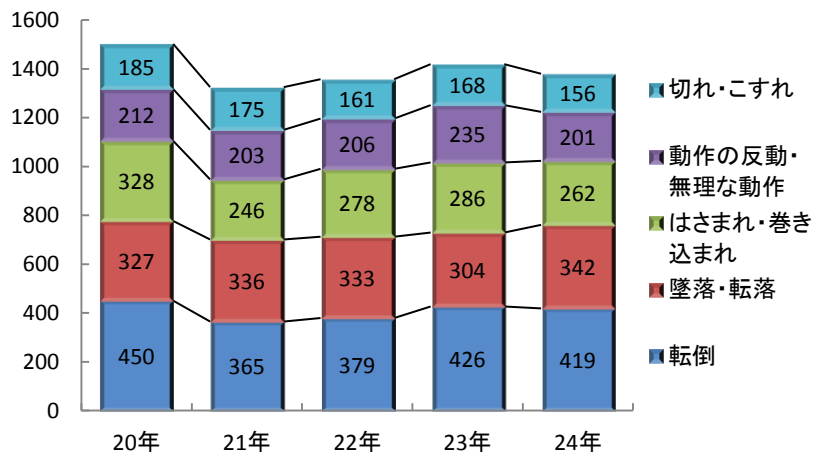
転倒災害はワースト・ワン

長野県内の転倒災害は、労働災害の事故の型別の中でも最も多く、平成25年は、515人（25.8%）で、前年に比べて96人（3.8ポイント）の増加となっています。

■事故の型別死傷者数（平成25年）



■平成20年～平成24年 主な事故の型別死傷者数(休業4日)

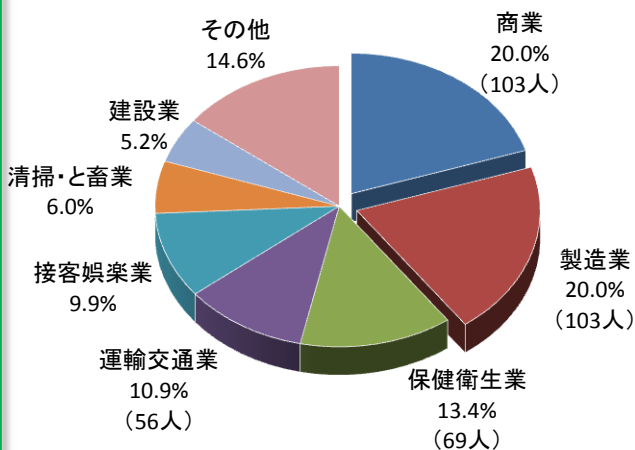


転倒災害は商業と製造業で多く発生

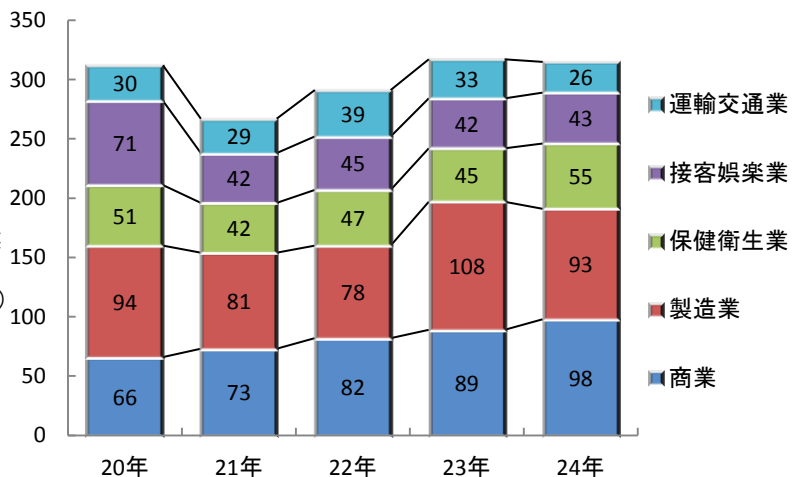


転倒災害を業種別にみると、商業と製造業が20.0%、次いで保健衛生業が13.4%の順となっており、商業と製造業で多く発生しています。

■業種別・転倒災害による死傷者数（平成25年）



■平成20年～平成24年 主な業種別・転倒災害による死傷者数(休業4日以上)



いま対策を!

高齢化の進展やそれに伴う65歳までの継続雇用の導入により高齢労働者の増加が見込まれていますので、転倒災害防止のための対策がより一層求められています。

■ 転倒災害を防ぐには

● 基本は4S・・・「整理」「整頓」「清掃」「清潔」

● 滑り防止対策

- ◆床面をよく清掃する。
- ◆床面の水や油はよくふき取る。
- ◆滑り止めのマットを敷く。
- ◆滑り止めのテープを貼る。
- ◆滑りにくい靴底の靴を履く。

● つまづき防止対策

- ◆通路に物を置かないようにする。
- ◆床面の凹凸をできるだけなくす。
- ◆通路の損傷は、早く直す。
- ◆段差はできるだけスロープにし、色別表示で注意喚起を促す。
- ◆通路は照度75ルクス以上（できれば150ルクス以上）にし、明るくする。

職場の改善事例



ヒント
危険個所の「見える化」を進める!

※出典
改善事例の写真は、中央労働災害防止協会のあんぜんミュージアム・シアターの特別展示資料から抜粋しています。



屋外の緩やかなスロープに、滑り止めと「止まれ」の表示をし注意喚起。



滑りやすいタイル張りの通路に滑り止めを貼る。



滑り止め靴を履き、さらに、丸いタンクの上蓋に黄色の滑り止めテープを貼る。



通路内の床上配管には、滑り止め加工の堅固な両面スロープで防護し、つまづきを防止する。



①段差のある床には黄色で注意表示。
②滑りやすい金属板に黄色の滑り止めを貼る。



作業通路の床の突起物（段差）にトラマーク（黄色と黒の縞模様）を貼り注意喚起。